

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Linoぶれいす箕面東			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		～	2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフが子ども一人ひとりに丁寧に寄り添い、安心できる雰囲気づくりを大切にしている。	活動プログラムが固定化しないよう、正規職員を中心に内容を工夫して作成している。	保護者同士が意見交換できる場（交流会・情報共有会等）の開催を増やす。
2	放課後等デイサービス計画の作成・共有が適切に行われ、計画に沿った学習面や遊びの面で、個々のペースや得意分野を活かした支援が実施されている。	職員間で打ち合わせや振り返りを行い、チームで連携して、子どもの状況や発達段階に応じた柔軟な支援を行っている。	非常勤職員やアルバイトも活動プログラム作成・振り返りに参画できる仕組みを検討する。
3	保護者との連携やコミュニケーションを大切にし、面談や相談、情報発信を通じて家庭と共通理解を持っている。	生活空間や支援環境を構造化し、清潔で過ごしやすい環境づくりを意識している。	医療機関との連携をさらに強化し、健康面や医療指示に基づく支援を充実させる。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な知識を持つ職員が不足している。	安全管理や専門的対応に関する知識・経験不足の影響。	専門知識を持つ正規職員の増員や研修機会の強化。
2	就学前の事業所との情報連携や、地域・医療機関との連携が十分ではない。	活動プログラムや支援内容の改善・振り返りの仕組みが部分的であること。	支援記録の活用やPDCAサイクルの定着を図り、支援改善につなげる。
3	活動記録を支援改善に活用できておらず、振り返りの精度が課題。	保護者や地域との交流の場、意見反映の機会が限定的であること。	保護者交流会・地域交流等を実施し、支援の質向上と透明性を確保する。